

# 第3章

K O S H I C I T Y

## 第1期基本計画

# 政策横断的重要課題と対応方針

本市の特徴、強み・弱み、急激かつ大きな環境変化を分析し、今後4年間（令和6年度～令和9年度（2024年度～2027年度））における重要政策を、「政策横断的重要課題」として設定し、市民や市内外の関係機関と協力し、積極的に取り組んでいくこととします。

## 【政策横断的重要課題】

### 「創造的挑戦による地域共生社会の実現」

- ① 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進
- ② 「こどもまんなか社会」の構築
- ③ 産業の共生による市経済の持続的発展

人口増加や大規模企業等の進出、高速道路等の交通インフラ整備が進む本市においては、市全体の産業が活性化され、更なる人口増加が期待される一方、これらによる交通渋滞や、子育て環境の整備、農業等の基幹産業への影響など、将来的課題も多く抱えています。これらの課題は様々な要因が複雑に関わっており、個別政策のみでなく、政策分野横断的に対応していく必要があります。

地域が新たな変革を遂げようとしている今後の4年間においては、改めて、市民の声や地域社会の実情に真正面から向き合い、また、社会・時代の流れを的確に捉えていくことが重要です。これまでの政策立案・推進の枠組みに捉われない発想の転換・意識変革を通して、創造的な施策展開に挑み続けることとし、市民が助け合い、支え合いながら、多様性を理解し、将来にわたり豊かな生活を送れる、「地域共生社会」の実現を目指します。



政策横断的  
重要課題①

## 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

### 課題の認識

第2期基本構想期間において、本市では平成28年熊本地震や、梅雨時期の集中豪雨等による自然災害が多く発生しました。また、社会全体においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ウクライナ情勢等の動きもあります。また、SNSやサイバー犯罪等の新たな犯罪の脅威への対応も必要です。

このような環境や社会情勢の変革への対応を的確に行うべく、これまでも進めてきた「安全・安心」に関する取り組みを更に強化する必要があります。

### 政策の方向性

防災・減災や交通安全、防犯、更には新型コロナウイルス感染症のような不測の危機への対策に向け、避難所等の公共施設等の機能強化、市民の意識醸成等のハード・ソフト両面での対策を進めます。

### 具体的な取り組み(一例)

- 市民の防災・防犯意識の向上
- 交通事故防止対策
- 交通渋滞対策
- 感染症等の危機管理対策
- 子どもや高齢者の見守り環境整備



消防団の活動



熊本電鉄のくまもん電車

## 「こどもまんなか社会」の構築

### 課題の認識

こども家庭庁の設置や「こども基本法」が施行され、「こどもまんなか社会」（こどもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据えること）の実現が目指されています。

本市の子育てに関する環境や施策は、民間企業による調査等においても例年高い評価を受けており、子育て世代の転入が他市町村と比較して多い状況にあります。こうした特徴を持つ本市が、少子化対策・子育て支援にこれまで以上に注力することで、本市の魅力を更に高めることが期待されます。

### 政策の方向性

子育て支援や教育の充実にとどまらず、子どもの視点を政策に取り入れ、子どもが楽しめる地域イベントや拠点の整備、飲食・商業施設の充実、また、通学時の見守りや安全確保等に取り組みます。

### 具体的な取り組み(一例)

- 教育環境の整備
- 家族で楽しめるイベント等の開催
- 子どもの遊べる場の充実
- 通学路の安全対策
- 少子化対策



小学生の田植え体験



川崎市での合志市PRイベント

政策横断的  
 重要課題③

## 産業の共生による市経済の持続的発展

### 課題の認識

TSMCの菊陽町への進出が発表され、さらにソニーグループによる本市での工場建設が明らかになる等、熊本県への半導体産業の集積が進んでおり、これに伴う様々な課題に対応するため、本市では検討会議を設置し各種施策の推進を行っています。

半導体産業のみならず、農業をはじめとしたあらゆる産業がこの効果を享受できるよう、産業集積、交通渋滞対策、農地・農業対策、環境保全、国際交流等を進め、市内各産業間の共生等を図っていく必要があります。

### 政策の方向性

半導体関連産業や他の製造業、さらには商業・サービス業や農業等あらゆる産業が、TSMC進出等の効果を楽しむことができる地域づくりや、交通渋滞・地下水保全への対応、国際化の推進等を進めます。

### 具体的な取り組み(一例)

- 半導体関連産業の市内への立地促進
- 人材不足対策
- 地下水対策
- 農業の振興と担い手の育成・確保
- 国際交流の推進
- 交流人口の拡大



セミコンテクノパーク航空写真



特産品のスイカ

基本計画では、各施策にSDGsを掲げ施策を展開し、SDGsの理念を意識しながら市政運営を推進していきます。

# SDGsとは



## 誰一人取り残さない持続可能な開発目標

SDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))は、平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された平成28年(2016年)から令和12年(2030年)までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国も取り組むべきユニバーサル(普遍的)なものであり、自治体として今後の施策の企画・立案・実行の各プロセスにおいて、SDGsの理念に配慮した市政運営に努めていく必要があります。

基本計画では、各施策にSDGsを掲げ施策を展開し、SDGsの理念を意識しながら市政運営を推進していきます。

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>	<p><b>目標1 [貧困]</b> あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p><b>目標7 [エネルギー]</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>	<p><b>目標13 [気候変動]</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>	<p><b>目標2 [飢餓]</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>	<p><b>目標8 [経済成長と雇用]</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<p><b>目標14 [海洋資源]</b> 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>	<p><b>目標3 [保健]</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p><b>目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p>	<p><b>目標15 [陸上資源]</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>	<p><b>目標4 [教育]</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>	<p><b>目標10 [不平等]</b> 国内及び各国間間の不平等を是正する</p>	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p>	<p><b>目標16 [平和]</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p><b>目標5 [ジェンダー]</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<p><b>目標11 [持続可能な都市]</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p><b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p><b>目標17 [実施手段]</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p><b>目標6 [水・衛生]</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>	<p><b>目標12 [持続可能な消費と生産]</b> 持続可能な消費生産形態を確保する</p>		